４．単元の指導計画及び評価計画

評価規準	
関心・意欲・態度	武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとすることなどや、健康・安全に気を配り学習に取り組もうとしている。
思考・判断	技を身につけるための運動のおこない方のポイントを見つけている。課題に応じた練習を選んでいる。
技能	基本動作を用いて、相手との間合いのかけひきの中から攻防を展開できる。
知識・理解	剣道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解している。

次	時	主な学習活動	評価の観点 関	思	技	知	評価基準（方法）	言語活動計画
1（はじめ）	1	○オリエンテーション ・礼法、剣道の歴史、特性、道具の名称、授業のきまり	○			○	知　剣道の特性や成り立ち、基本動作や基本となる技の名称、関連して高まる体力について、言ったり書き出したりしている。（観察・学習カード） 関　礼儀作法を正しく理解し、実践しようとしている。（観察・学習カード）	言語活動① 学習計画作りの場面で、自分の考えを明確に伝えること、友達の考えを理解することで、学習意欲を向上させる。
	2	○基本動作 ・スキルウォームアップ習得、素振り、構え、足さばき、 ・垂胴装着			○		技　構え、足さばき、体さばきの基本動作を正しく行うことができる。（観察）	
2（なか）	3	○基本技術の練習① ・基本打ち（面、小手、胴）　、面・小手装着	○			○	関　剣道具の準備、後片付けを意欲的に行うことができる。（観察） 知　基本打突のポイントを理解し言ったり書き出したりしている。（観察）	言語活動② 技能のポイントを理解させ、お互いにより具体的なアドバイスを話せるようにする。 【話す聞く言語活動】
	4	○基本技術の練習② ・面・小手装着、基本打ち（面、小手、胴）	○	○			関　相手を尊重した態度で、協力し合って練習している。（観察） 思　基本打突のポイント伝えたり、身につけるための練習をしている。（観察・学習ノート）	
	5	○基本技術の練習③ ・基本打ち二段の技（小手面、面胴）、引き技（引き面、胴）			○		技　基本動作から基本打突ができる。（観察）	言語活動③ 学習のまとめの場面で、友達の良さやがんばりを認め合うことで、豊かなかかわり合いを持たせる。 【話す聞く言語活動】
	6	○基本技術の練習④ ・約束稽古、自由練習	○	○			関　積極的に話し合いに参加し、仲間の学習を援助しようとしている。（観察） 思　課題や自分の特徴に応じた技の練習を行っている。（観察・学習シート）	
	7	○技のできばえを競う判定試合 ・約束稽古の技のできばえを競う判定試合		○		○	知　判定基準を理解している。（観察・学習カード） 思　判定後に仲間の良いところを評価し伝えることができる。（観察）	言語活動④ 学習シートに、自分や友達、チームの動きを具体的に振り返らせることで、動きのポイントを次の授業につなげさせる。 【書く言語活動】
	8本時	○応じ技技術の習得① ・抜き技（面抜き胴）、自由練習			◎		思　グループでの教え合いの場面で仲間の良い動きを指摘している。（観察・学習カード） 技　タイミングをとらえて打つことができる。	
	9	○応じ技技術の習得② ・抜き技（小手抜き面）、自由練習		○			思　小手抜き胴を身につけるためのポイントを見つけている。（観察・学習カード） 思　自分に合った応じ技を選択し練習している。（観察・学習カード）	
	10	○試合練習① ・審判法、グループごとに試合			○	○	技　相手の動きに応じた動きができる（観察） 知　簡易な試合におけるルール、審判方法を言ったり、書き出したりしている。 （学習カード・観察）	
3（まとめ）	11	○試合練習② ・審判法、グループごとに試合	○		○		技　相手の動きに応じた動きを行い、技を出すことができる。（観察） 関　自分の役割を果たし、相手を尊重した態度で参加している。（観察）	
	12	○試合① ・個人戦		○		○	思　自分の特徴や相手に応じた作戦を立てる（観察・学習カード） 知　簡易な試合におけるルール、審判方法を言ったり、書き出したりしている。 （学習カード・観察）	言語活動⑤ 単元のまとめで、自分やチームの伸びを分析･評価し、分かったこと、できたことを整理し、単元での学び方について自己評価させる。 【書く言語活動】
	13	○試合② ・団体戦	○		○		関　成功、失敗にかかわらず、仲間を賞賛したり励ましたりしようとしている。（観察） 技　学習したことを活かして、試合を行うことができる。（観察・学習カード）	